

ひまわり



第22回 福祉の絵手紙 理事長賞受賞作品 近藤 美幸 様

- 2 田原福祉グローバル専門学校
社会福祉学生ヒーローズ賞 受賞
- 3 あいちSDGsパートナーズに登録
- 4 福寿園公式Instagram
年間大賞発表
- 5 連載vol.77 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 福寿園ニュース
- 10 ▶ 11 家族会だより
- 11 たぶトピ
- 12 連載
 - 外国人介護士 紹介インタビュー
 - 祝出産! ベイビーちゃんいらっしゃ〜い
 - 4コマまんが フクちゃん

186号

令和8年3月10日



社会福祉 学生ヒーローズ賞

田原福祉グローバル専門学校

全国社会福祉法人経営者協会が主催する、福祉で働く若手職員によるスピーチコンテスト「社会福祉HERO'S」の学生版として創設された「社会福祉学生ヒーローズ賞」において、田原福祉グローバル専門学校が田原市内の小学生を対象に行っている取り組みが高く評価され、今回受賞いたしました。

本活動は、介護福祉学科の学生を中心に、田原市内18校の小学3年生以上を対象として実施しているものです。福祉の魅力を伝え、小学生のうちから福祉に興味を持ってもらうことを目的に、学校内での謎解きゲームや車いす・福祉用具体験、点字体験、福祉レクリエーションなど、エンターテインメント性を多く取り入れた内容で、楽しみながら福祉を学べる工夫を行いました。活動を通して、児童たちが一生懸命に取り組む姿にふれることで、学生自身のやりがいや学びにもつながりました。

授賞式では、ゲストのゆうちゃみさんより賞状と楯を授与していただきました。代表学生によるスピーチでは、「福祉を楽しく伝えることを大切にしてきました。子どもたちの『楽しかった』という声が大きき励みになっている」と活動の喜びを語りました。

また後日、受賞の報告のため田原市役所を訪問し、田原市長へ表敬訪問を行いました。

今後も、子どもたちが福祉に親しみ、未来の福祉を担う人へと成長していくきっかけ作りとなるよう、活動を続けていきたいと思っております。



「あいちSDGsパートナーズ」に登録されました

福寿園の取り組みの一部を紹介します。
詳しくは、ホームページをご覧ください。



すべての人に健康と福祉を

職員の乳がん検診、メンタルヘルス研修などの健康経営を積極的に推進しています。

また、福寿園をはぐくむ会「未来」の活動を通じ、地域に小学生の「福祉の心」絵手紙募集や福祉講演会の開催など「思いやり」と「福祉の心」をはぐくむ取り組みを進めています。



質の高い教育をみんなに

福寿園が運営する田原福祉グローバル専門学校では、将来の福祉を担う介護福祉士の養成を進めています。

また、子ども食堂や学習支援事業を通じて、学ぶ機会が十分に得られない子どもたちを支援しています。

さらに、小中学生を対象としたキッズボランティア事業や、ガイドヘルプなどの出張授業を通じて、福祉教育にも積極的に取り組んでいます。



人や国の不平等をなくそう

外国人介護士の受入れや、田原福祉グローバル専門学校で学ぶ留学生の支援を通じ、多様な価値観が生かされる組織づくりを進めています。



住み続けられるまちづくりを

地域福祉の拠点として、夏まつりやフェスタなどの地域交流行事の開催、ボランティアの受入れ、配食サービスによる独居高齢者の安否確認など、地域に根ざした活動を行っています。

また、多様な入居施設を整備し、支援を必要とする方の「住まい」を確保することで、安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献しています。



■そもそも「SDGs」とは？
最近よく耳にする「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」。「これは「みんなが安心して暮らし続けられる社会をつくるための、世界共通の目標」のことです。
「貧困をなくそう」
「すべての人に健康と福祉を」
「住み続けられるまちづくりを」
など、全部で17の目標があり、2030年までにによりよい社会をつくろう、という世界の約束です。
難しく聞こえるかもしれませんが、実は、私たちの身近な暮らしと深くつながっています。

■福寿園の取り組みは、もともとSDGsにつながっていました
・福寿園の使命は、ご利用者の健康と安心を守ること
・地域で支え合う仕組みをつくること
・職員が誇りをもって働ける環境を整えることです。
これはまさに、SDGsが目指している社会そのものです。
今回、SDGsに登録するきっかけは、特別養護老人ホームひまわりの街でのQCサークル活動の中で、「私たちの仕事のやりがいつて何だろうか？」「自分たちの仕事の価値を、もっと見える形にできないだろうか？」という声から

上がりました。
忙しい毎日の中で見失いがちな誇り。
でも、私たちの仕事は、人の人生を支え、地域を支える、とても大切な仕事です。
その価値を改めて「見える化する」一つの方法として、SDGsへの登録を目指しました。
■「あいちSDGsパートナーズ」とは？
愛知県が行っている制度で、SDGsの達成に向けて取り組む企業や団体を登録し、その取組を広く紹介するものです。登録するためには、経済・社会・環境の3つの面から取り組んでいること等の

条件があります。
福寿園はこれらを満たしていることが認められ、このたび正式に登録されました。
■今後に向けて
今回の登録は、私たちの毎日の仕事、地域の未来につながっていること、持続可能な社会づくりに貢献していることを、あらためて確認する第一歩です。
これからも福寿園は、ご利用者の尊厳を守ること、地域とともに歩むこと、そして、働く人が誇りをもてる職場づくりを大切にしながら、「誰一人取り残さない社会」の実現に取り組んでまいります。

祝 フォロワー 2,000名突破!

福寿園の公式Instagram(通称インスタ)が、2021年の開設から約5年、フォロワー数がついに2,000名を超えました! 投稿数も600件を数え、試行錯誤しながらも、行事から何気ない日常まで「あたたかい毎日」を届けてきました。皆様の支えに感謝し、これからも見ると「ちょっと笑顔になれる」発信を続けてまいります。ぜひご覧ください!

●2025年に投稿された約150件のうち、年間大賞を勝手に選考しました。



108歳のご入居者お祝い投稿に感動の輪(豊田福寿園)

数ある投稿の中でも、108歳を迎えられた入居者の記事が大きな反響を呼びました。閲覧数約6.3万回、いいね1,495件(2026年2月現在)を記録し「素晴らしい」「あやかりたい」と温かい声が続出。長生きの尊さと、福寿園での日々の積み重ねの素晴らしさが多くの方に伝わった、記憶に残る投稿です。



謹賀新年

●その他のユニークな投稿です



福寿園ビッグバンドサークル 高校野球の球場応援
福寿園のビッグバンドサークルが、高校球児の応援のため球場へ。一生懸命プレーする高校生に向けて、力強い演奏でエールを送りました。福祉と地域、そして若者が音楽でつながる、心温まるひとときでした。



くすのきの里 手形ひまわりアート
入居者が一生懸命取り組まれた手形アート。完成したひまわりはとても美しく、アイデアあふれるレクリエーションとして印象に残っています。



東海福寿園 デイサービスの日光浴
何気ない日常のひとコマ。日向ぼっこをされるお年寄りの姿に、「癒される」「こういう時間がいい」と多くの反響がありました。特別な行事だけでなく、日常の尊さを感じる投稿です。



田原福寿園 夏祭り&100歳サプライズ
夏祭り当日に100歳を迎えられた入居者へのサプライズ企画。福寿園音頭を歌う佐藤朱実さんが会場でお祝いをし、皆さまの前で盛大に祝福しました。会場が一体となった感動的な時間でした。

連載 ⑦

記録に残したい記憶 〜貴重な体験を語り継ぐ〜

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。



ほんだ すわお さん
本田 須和雄 さん
(くすのきの里デイサービス)

プロフィール

生年月日…昭和7年2月15日
好きな食べ物…とんかつ、お酒
性 格…社交的
趣 味…カラオケ、麻雀
座右の銘…平凡に生きる

昭和7年2月15日、名古屋市東区生まれ。7人兄弟の6番目、三男です。在校生2千人ほどの筒井国民小學校に通い、学校には、奉安殿と名付けた建物があり、中には天皇・皇后陛下の御写真が飾ってありました。毎日、朝礼時に全員で挨拶をして各教室に入り、授業を受けていま

した。

昭和19年4月、愛知一中(現、旭ヶ丘高校)に入学しました。戦争がたけなわで入学して間もなく、高射砲陣地作り等土木作業の手伝いをしました。その後、学徒動員令が発令され、私たちは、学校近くの三菱電機に仕事に行きました。作業内容は、

ヤスリ掛け等の軽作業。空襲が激しくなり、学校に作業台、機械を持ち込んで教室で作業をしました。ある時、友人の親より「空襲にあい、子どもが行方不明だから探して欲しい」と依頼があったので、探しに出ましたが、友人と父親の遺体はすぐに見つかりました。遺体には出血も

なく、綺麗なお顔をしていました。今でも覚えています。終戦の日、8月15日は運動場に集合して玉音放送を聞きました。日差しが強く、暑さが気になって放送内容が分かりませんでした。先生からの話の中で戦争に負けたことを知りました。

昭和21年、金融封鎖があり、預金が自由に下ろすことができなくなりました。父が満州にいるため、新田の入

なく、綺麗なお顔をしていました。今でも覚えています。終戦の日、8月15日は運動場に集合して玉音放送を聞きました。日差しが強く、暑さが気になって放送内容が分かりませんでした。先生からの話の中で戦争に負けたことを知りました。

在職中から謡曲を習い、現在もたしなんでいます。また、退職後は趣味で合唱も始め、舞台に立ったこともあります。海外旅行も夫婦でよく行きました。結婚して66年、娘3人、孫10人、曾孫3人。毎年夏と冬に、四国・九州・東京より全員が集まり、旅館に一泊し楽しんでます。

私達夫婦は、私がかすのきの里デイサービスにお世話になり、楽しんでいきます。川鉄時代の友人等に会うことが、楽しみを倍加しています。



妻とのシンガポール旅行



親族一同での南知多旅行

武豊福寿園 スイーツポテト作り



カフェをイメージしてBGMを流し、作る時は、素敵な工程

プロンを付けて、利用者さんができる工程を用意して作りました。普段座って過ごしている方が、「立ってやらないとね!」と言い、立って作業していました。寝て過ごしている方も、生き生きとした表情で作る、出来上がると「まあ!なんて良い色なの〜」と感動していました。出来上がったポテトは、ドリップ仕立てのコーヒーと一緒にいただきました。「素敵な思い出になったわ」と言ってくださる方もいて、職員共に楽しい時間を過ごすことができました。

グループホームちた福寿の里 中学生との楽しい交流

社会福祉体験事業の一環として、知多市立旭南中学校の生徒さんがグループホームへ来てくれました。

生徒さんが考案作製してくれた、輪投げや魚釣りゲームなどを一緒に楽しみ、白熱した戦いが繰り広げられ大盛り上がり!ゲームの後には手作りのメダルを貰い、「ありがとうね」と生徒さんに優しい表情で声を掛けていました。

日頃なかなか交流がない若い生徒さんの姿に、皆さん嬉しそうな表情



があふれていました。今後も交流会の予定があるので、次はどんなお楽しみがあるか今からワクワクです★

グループホーム花の里 日記への想い



グループホームをご利用されている中嶋敏雄さんの俳句が、中日新聞

の中日俳壇のコーナーに掲載されました。

「日記焼く生きた証はわれ自身」ご自身が100歳を迎えたことを機に昔書いていた日記を再開し、その日記についての想いを書いた句です。昨年の夏から投稿し始め、今回初めて掲載となりました。新聞に書かれているご自身の名前を見つけた時は、「自分の俳句でも作品になるんだ、認められたことが嬉しかった」と喜ばれていました。

渥美福寿園デイサービス 心温まる演奏会

田原市文化協会「渥美リラの会」の皆様に来ていただき、琴や三味線の演奏会が行われました。来てくださった方の中にはご利用者のご家族も見え、「こきりこ」「さくら舞曲」「涙そっこ」などの親しみのある楽曲を演奏してくださいました。美しい音色に皆、心温まりました。最後には、アンコールも快く受けてくださり、一緒に歌ったり拍手をして、楽しいひと時を過ごすことができました。

素晴らしい演奏をありがとうございました!



田原ゆの里デイサービス

甘い香りに包まれて

2月上旬、まだ寒さの残る季節ではありますが、いちご狩りにでかけました。ハウスの中は、春のような



温かさ甘い香りに包まれ、真っ赤に実ったいちごを見ると、皆さんの表情も自然とほころびました。「甘くておいしいね」「こんなに大きいよ」と会話も弾み、自分の手で選び、摘み取って味わういちごは格別でした。「家族にも食べさせてあげたい」と嬉しそうに話している姿が印象的でした。旬の味覚を堪能しながら、心も体も温まるひとときとなりました。

田原福寿園ショートステイ
福寿園に鬼襲来!

「鬼が来たぞー!」と大きな叫び声と共に、田原福寿園に赤鬼と青鬼がやってきました!

「鬼は外!福は内!」と利用者の皆さんは鬼を倒そうと精一杯、鬼にボールをぶつけます。元気いっぱいだった鬼も、利用者の皆さんの迫力と団結力に圧倒さ



れ、最後には退散。今年一年の邪気を払い、無病息災を祈願することができました。

ひまわりの街

希望を込めた
タイムカプセル



昨年、EPA16期生とデイサービスの利用者とのコラボ企画として「1年後の自分へ」をテーマに手紙を書き、当日の新聞とともにタイムカプセルを作製しました。そして今年2月、みんなで力を合わせて掘り起こしました。当時の新聞記事を読みながら「こんなことがあったね」と会話も弾みました。タイムカプセルが姿を現した瞬間には、自然と歓声上がり、1年の時を超えた心温まる時間となりました。

豊田福寿園

期日前投票へ行きました!

5名の利用者さんとともに、衆議院議員総選挙の期日前投票へ出かけました。最近入所された方からは、「今まで選挙は必ず行っていたので、入所後もこうやって投票に行けることがうれしい」と言われていました。帰りの車内では、「また選挙のあるときは元気に出かけたい!」「選挙は国民の義務だもんね」と盛り上がり、とよたのいちご



の写真入り投票済み証明書を、大切そうに持ち帰られていました。

東海福寿園養護
介護予防教室



東海市健康推進課と地域サポーターの先生にお越しいただき介護予防教室を開催しました。健康測定では、日常生活の元気さや筋力の目安となる握力測定、歩くための筋肉量を確認する指輪つかテストを行いました。地域サポーターの先生による座って取り組める体操や、健康推進課による栄養指導もしていただきました。日々の生活を見直し、日頃の体力づくりに目標を持てるとても良い体験になりました。

リコーダーで奏でるハーモニー

新しい一年がスタートし、今年初めての演奏会が行われました。その名も「リコーダーの会」です！リコーダーといえば、小中学生時代に馴染みのある楽器ですが、その想像をはるかに超えた大人の楽器へと大変身。ナツメコや懐かしい曲などを選んで披露してくださり、11人のリコーダーによる美しい音色やハーモニーが会場に響きました。演奏中はなんとコーラス部隊も登場。入居者も自然と口ずさみ、曲に合わせて一緒に体操もしました。美しいアンサンブルと安定とした伴奏で、皆さんと共に音楽を楽しむ空間を与えてくれました。



くすのきの里

広場で遊ぶの大好き

託児所の子もたちが遊べる砂場が敷地内にできました。名前は「くすのき広場」です。広場には砂場と小さい滑り台があります。小さい子は、手づかみで砂を触って感触を確かめたり滑り台を滑ったりしています。大きい子は、砂を入れたカップを「アイス!!」「どうぞ♡」と渡して食べる真似をしたり、砂をたくさん集めて「トンネル作りたい」と言ったり挑戦したりしています。少し寒くても広場で遊ぶことが大好きな子どもたちです。

一筆、入魂!

2月1日、視覚障害者団体さくらんぼ主催の「さくらんぼ書道展」が田原市文化会館にて行われ、入所者が書いた書道作品が展示されました。全盲のため、まずは文字を縁取った板を手で触り形を確認



します。その板を筆でなぞる等の練習をしてから本番に挑みました。書道は子どもの頃以来との声もありましたが、大きく勢いのある字で、見

る人を引き寄せる圧巻の出来栄でした。今後も様々な場所に展示される予定なので、是非観覧をしてみたいかがでしょうか。

ひまわり邸

目標に向けての挑戦



1年前、利用者さんからの「豊田マラソンに挑戦したい」の声から挑戦が始まりました。持病もあり、長距離の歩行は近所の買い物程度しか行っていませんでした。事業所の方の協力や、休日はご家族と一緒に訓練する日々を重ねて、当日を迎えました。ケアマネジャーが伴走し、万全のサポート体制の中スタート。坂道のあるコースでしたが、ゆっくりと歩み続け、2キロのコースを無事に完走。みんなで利用者さんの夢を叶えることができ、幸せを感じた瞬間でした。

みなみ福寿園

介護体験、知ってみよう！

12月15日・18日の2日間、末野原中学校にて介護体験授業を実施しました。昨年からの取り組みとなっており、今年度は7クラス・計250名が参加しました。職員が学校へ出張し、介護の仕事や高齢者の生活について説明した後、高齢者疑似体験を行いました。生徒からは「思いやりの大切さや介護への関心が高まった」との声が聞かれ、福祉への理解を深める有意義な機会となりました。今後も地域と連携した活動を継続していきます。



児童発達支援きだっこ

おばけ鬼は外♪

児発きだっこの今年度の遊びのテーマは「おばけ」です。一年を通して



て様々な場面でおばけが登場して、子どもたちの遊びのイメージを膨らませてきました。2月3日の節分には、おばけが鬼に変身して『おばけ鬼』の登場！職員と一緒に「おにはそと！ふくはうち！」と大きな声でかけ声を練習した後、豆まきの本番です。大きなおばけ鬼を相手に、豆に見立てたカラーボールを力いっぱい投げて、鬼退治をしました。これで無病息災！今年のきだっこの子どもたちも元気に過ごせます！

ケアハウスきぬつら

居酒屋きぬつら開店です！

年に3回の居酒屋企画では、毎回違う厨房自慢のメニューに、みなさん数日前から楽しみにされています。当日は好きなメニューを購入し、お酒を片手に自由に楽しめます。普段の食事ではなかなか食べられない揚げたての天ぷらや手作りの押し寿司に「美味しいよー」「毎日居酒屋ならいいのに」と大変好評でした。居酒屋の時はいつもと違う席で、最近入居された方も、以前から入居されている方も、入居者同士の良い交流の場にもなっています。みなさんが笑顔で、ここに来て幸せを



感じてもらえるよう、今後も楽しい企画を行っていききたいと思います。

昭和の里 就労継続支援

刑務支所で販売

昨年より、施設から車で数分の場所にある豊橋刑務支所にて、職員の



皆さまを対象に、パンをはじめ、総菜類やおにぎり、丼ものなどの販売を行っています。販売は、就労継続支援の利用者と職員が一緒に行い、中でもサンドイッチが一番人気です。

月2回の販売ということもあり、回を重ねるごとに楽しみにしてくださる声が増えています。多くの職員の皆さまにお越しいただいていることが、販売を行う利用者にとっても大きな励みとなっています。今後も美味しいパンをお届けしていきます。

大相撲星取予想 年間MVP決定

毎年恒例となっている、法人内施設全体による『大相撲星取り予想年間上位者』が発表されました。今年度は、養護老人ホーム東海福寿園の和田孝之さんがみごと優勝に輝きました。表彰式では、中立常務理事より、お祝いの言葉とともに賞状が贈られました。



順位	名前	施設名	総得点
一	和田孝之	養護老人ホーム東海福寿園	36860
二	山田一廣	養護老人ホーム東海福寿園	36960
三	木村幸雄	特別養護老人ホーム花の里	36410
四	田中美代子	ケアハウスきぬうら	36310
五	小川知系	ケアハウスパシフィック	36110
六	瀬川秀一	養護老人ホーム福寿園	36010
七	宮城寛二	養護老人ホーム福寿園	36010
八	橋井美香	ケアハウスパシフィック	36000
九	小島祥二	ケアハウスパシフィック	36000
十	山田保範	ケアハウスパシフィック	35960

令和7年度(令和7年春場所)〜令和8年初場所) 大相撲星取予想 法人年間総得点ベスト10

令和7年度 職員リーダー研修会

令和8年1月30日、ホテルシーパレスリゾートにおいてリーダー研修会を開催し、主任・センター長等のリーダー職員88名が参加しました。午前には古田理事長より「リーダーとしてのあり方〜大事なのはバランス力〜」をテーマに講義があり、人が力を発揮できる環境づくりの大切さを学びました。続いて中立常務理事より「目指したいリーダー像」と題し、古典を引用しながら人材育成の重要性を確認しました。

午後は(株)OJTソリューションズより講師を招き、トヨタ生産方式を基に業務改善の考え方を学びました。参加者からは「5Sの本質を学んだので現場で実践したい」との声も聞かれました。

今後も職員一人ひとりの成長を支え、より質の高いサービスの提供に努めてまいります。



みなみ福寿園 家族会勉強会

風通しの良い施設づくりと家族との交流、施設を知ってもらう一環として、2月21日、家族会勉強会を開催することとなりました。施設の1年の歩みと「延命と救命について」を今年のテーマとして行いました。施設生活や施設対応に安心を持っていただける良い機会となりました。

家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

くすのきの里 お寿司で家族団らん

2月22日にさつき・もくれんユニットの家族会を行いました。お寿司屋さんをコンセプトに、注文を受けてから提供することにこだわりました。また、食形態に合ったお寿司をご用意してみなさんに楽しんでいただきました。カラオケでは懐かしの名曲を歌われ、最後は、職員のみげダンス

外国人介護士、国家試験合格を目指して!

介護福祉士国家試験合格を目指す特定技能・EPA介護福祉士候補者が木田の里に集まり、1月19日から23日まで受験対策のための合宿に参加しました。

初日に合格に向けて決意表明を行い、理事長からも激励の言葉をいただきました。合宿中は決意を記したはちまきを身につけて、気持ちを高めました。模擬試験の結果には一喜一憂がありましたが、お互いに声をかけながら、苦手な科目や間違えた問題の克服に励みました。

試験当日は雪が降るとも寒い日となりましたが、各施設の応援のもと、1月25日の国家試験に挑みました。



合格発表は3月16日。みんな合格できますように!

東三河日本語スピーチコンテスト

田原福祉グローバル専門学校

田原市の日本語スピーチコンテストを勝ち抜いた、日本語学科のエフィさんとシンディさんが、東三河スピーチコンテスト(2月8日)に出場しました。エフィさんは努力賞、シンディさんは優良賞とオーディエンス賞をそれぞれ受賞しました。

本番前は緊張した様子でしたが、日本ででの生活やアルバイトを通して得た学びを堂々と発表することができ、時には観客の笑いを誘う場面も見られるなど、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮しました。



岩津天満宮 合格祈願

田原福祉グローバル専門学校

1月7日、校長先生、事務長をはじめ教職員6名で学問の守り神である岩津天満宮に、合格祈願のお参りに行ってきました。第38回介護福祉士国家試験に向けて、朝から夜まで勉強する学生のため、受験合格札、天神鉛筆を授かり、岩津の天神さまに合格への



願いが届くように絵馬を奉納しました。境内の早咲きの梅にご縁を感じ、試験当日まで学生を叱咤激励していきます。

全員合格目指せ!



家族会加入のご家族をお招きし、勉強会を開催しました。今年度の福祉QC活動で取り組んだ「認知症対応を上手にしよう」の発表を行い、施設の活動に理解を深めていただきました。その後、入居者さんも参加し、笑いヨガを行いました。「イエイ！」とみんなで大きな声を出し、いっぱい笑い、汗をかき、幸せホルモンがたくさん出て、心も体もスッキリしました。

東海福寿園 家族会勉強会

を披露!!入居者さんから「懐かしい気持ちだわ」とご家族と一緒に大笑い。入居者さんとご家族の明るい笑顔を見ることができ、あたたかい気持ちになりました。

2月8日に家族会勉強会を開催しました。今年のテーマは「食事について」とし、普段ご家族が気になりやすい「食事をどのように食べているのか」「安全に食べられているのか」といった点を中心に、食事のプロセスや施設で提供している食事について紹介しました。噛む力や飲み込む力が低下した方でも、無理なくおいしく食事を楽しんでいただけるように、食事形態や味付けに工夫を行っています。また、食事のみで栄養摂取が難しい場合に提案している栄養補助食品の試食も行い、ご家族が理解を深める機会となりました。



ちた福寿園 家族会勉強会

福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.21

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在103名(フィリピン人64名、ベトナム人30名、インドネシア人9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎月一人ずつ紹介します。

- Q** 日本で介護士になった理由は何ですか?
A 将来、人の役に立つ仕事がしたいと思い挑戦してみようと思いました。
- Q** 今の職場はどんなところですか?
A 明るくて、職員さん同士の雰囲気がいいです。困った時も優しく教えてくれる先輩たちがいます。
- Q** 仕事で一番うれしかったことは何ですか?
A 利用者さんに「ありがとう」と言われた時はうれしくて、頑張ってきたよかったと思いました。
- Q** 日本で働いてよかったと感じることは何ですか?
A 介護福祉士の試験が受かって、自分が成長できているんだなと思っています。
- Q** 日本での生活にはもう慣れましたか?
A そうですねえ〜少しずつですが慣れてきました。
- Q** これから介護士を目指す人へ一言お願いします。
A 大変ですが、やりがいのある仕事です。ぜひ挑戦してみてください。一緒に頑張りましょう。



ファム ティ
トゥオン ビー
ニックネーム
ビー
ひまわり邸
国籍:ベトナム

新連載

祝出産!

ベイビーちゃん、いりっしや〜り

お子さんのなまえ
はるひ
陽日ちゃん(男の子)

特徴 よく笑います。泣くより笑ってる時間の方が長いです。3歳のお兄ちゃんにお腹を潰されてもケタケタ笑ってます。

名前の由来 太陽のようにあたたかい「陽」の字を使い、どんな状況でも、自分はあたたかい環境にいると感じ、感謝の気持ちを忘れずに生きてほしいという願いを込めました。

法人本部 職員
岡田 華奈
《現在育児休業中》



令和8年3月10日発行

■発行／社会福祉法人 福寿園
■理事長／古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。

